

第 28 期 決 算 公 告

2019年 5月29日
千葉県市川市千鳥町14番4
株式会社サンドテクノ
代表取締役 小田徹也

貸 借 対 照 表

2019年3月31日現在

株 式 会 社 サ ン ド テ ク ノ

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金 預 金	179,117	工 事 未 払 金	49,012
受 取 手 形	135,592	そ の 他 事 業 未 払 金	206,527
完 成 工 事 未 収 入 金	67,502	未 払 金	98,229
売 掛 金	368,008	未 払 費 用	12,742
材 料 貯 蔵 品	11,811	未 払 法 人 税 等	18,044
仮 払 金	53	賞 与 引 当 金	8,600
未 収 入 金	7,594	預 り 金	1,566
関 係 会 社 預 け 金	1,230,000	流動負債合計	394,723
未 収 収 益	1,339	II 固 定 負 債	
貸 倒 引 当 金	△ 1,300	長 期 未 払 金	6,400
流動資産合計	1,999,721	固 定 負 債 合 計	6,400
II 固 定 資 産		負債合計	401,123
1 有 形 固 定 資 産		(純 資 産 の 部)	
建 物	1,914	I 株 主 資 本	
構 築 物	821	1 資 本 金	70,000
機 械 及 び 装 置	166,907	2 利 益 剰 余 金	
車 両 運 搬 具	6,500	(1) 利 益 準 備 金	3,350
工 具 器 具 ・ 備 品	3,385	(2) 繰 越 利 益 剰 余 金	1,721,577
有形固定資産合計	179,529	利 益 剰 余 金 合 計	1,724,927
2 無 形 固 定 資 産		株主資本合計	1,794,927
電 話 加 入 権	509		
ソ フ ト ウ ェ ア	2,892		
無形固定資産合計	3,402		
3 投 資 そ の 他 資 産			
敷 金	1,230		
破 産 更 生 債 権 等	4,958		
繰 延 税 金 資 産	12,166		
貸 倒 引 当 金	△ 4,958		
投資その他資産合計	13,396		
固定資産合計	196,328		
合 計	2,196,050	合 計	2,196,050

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

材料貯蔵品 原価法（最終仕入原価法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法。但し、1998年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）ならびに2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法。
なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の定めと同一の基準によっている。

無形固定資産 定額法。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れの損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績率を基礎とした将来の貸倒損失の発生見込率により、貸倒懸念債権等、特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上している。

(4) 収益及び費用の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用している。

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 表示方法の変更

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）に伴う「会社法施工規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」（法務省令第5号 平成30年3月26日）を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更している。

この結果、前事業年度において流動資産に区分していた「繰延税金資産」（前事業年度10,559千円）は、当事業年度においては、投資その他の資産の「繰延税金資産」12,166千円に含めて表示している。

3. 当期純損益金額

当期純利益 238,578千円

（注） 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。